

編集後記

本号では〈座談会〉で「蘇る日本のこころの支援」を掲載した。東日本大震災を受けて急遽、企画したものであるが、編集委員の1人として改めて読み返してみても非常に読み応えのある内容に仕上がっていると感じた。各氏それぞれのお立場から災害や戦争に関連した思い出や感慨を述懐してくださっているが、それぞれのお言葉がこころに沁みる内容であった。精神科医療に携わる我々が、今回の大震災に際して、あるいは震災後の社会の中で、どのような役割を果たすべきなのかということを考えるときの礎の1つにさせていただきたいと考えている。4氏の先生方にこの場を借りてお礼を申し上げます。

さて、「研究と報告」では、「レビー小体型認知症患者の幻視に対する心理的介入の有用性」、「有床総合病院精神科における精神科医と非精神科医による精神科時間外診療」、「コンピュータトレーニングを用いた認知機能リハビリテーション」の3題が掲載された。いずれも一昔前の精神医学関連の雑誌ではあまり考えられないようなテーマの原著論文である。しかし、認知症への心理学的理解と介入、総合病院での精神医学の実践、統合失調症者の社会復帰、と括ればきわめて今日的で重要なテーマであることは一目瞭然である。今後のさらなる実践と研究を期待したい。「短報」も嘔吐恐怖症の小児例、てんかん性笑い発作の初老期の1例、辺縁系脳炎の1例、など臨床的に重要な症例報告が並んだ。「私のカルテから」にも1例の症例報告がなされている。読者諸氏の日常診療の参考になれば幸いである。

本号が出版されるときはすでに残暑を迎えている頃であると思われる。しかし残暑といっても猛暑が続いているはずである。しかも今年は梅雨明けが例年よりも3週間ほど早いために夏がずっと早く始まっている。そのため長い長い夏の山場を少し超えた頃に相当するものと予想される。確かに読書には不向きな季節ではあるが、省エネと言いつつも夜半に少しだけエアコンをきかせて、頃合いを見て一気に読書をするのもよいのかもしれない。残暑お見舞い申し上げます。

(M.H.)

■ 編集委員

朝田 隆

飯森眞喜雄

井上 新平

小島 卓也

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC順)

精神医学 (第53巻 第9号)

2011年9月15日号 (毎月1回15日発行)

1部定価 2,625円 (本体 2,500円 + 税5%)

2011年年間購読料 (税込, 送料弊社負担)
 冊子のみ 30,600円, 冊子+電子版 39,800円, 電子版/個人
 30,600円, 電子版/共有 35,190円

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為 (コピー, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を無断で行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。